



小山田地区人権同和教育推進委員会

『人道の港 敦賀ムゼウム』視察研修

12月6日(土)小山田地区人権同和教育推進委員会主催で福井市の『人道の港 敦賀ムゼウム』への視察研修があり、27名が参加しました。

とても寒い日になり、小山田地区市民センターを朝8時に出発したときにはまだ雪は降っていませんでしたが、関ヶ原、伊吹、福井へと近づくにつれて雪がどんどんひどくなり、途中もチェーン規制や事故等で交通渋滞があり、大変な道のりでした。

バスの中で観たDVD『ほんとの空』では、高齢者や外国人に対する偏見、同和問題、原発事故に伴う風評被害の問題など多くの人権の課題を学習しました。

『人道の港 敦賀ムゼウム』では、杉原千畝の業績やユダヤ人難民の命をつないだ『命のビザ』などについて説明を受けました。人道の港 敦賀港には、心温まる感動のドラマがあることを知り、大変有意義な研修でした。

雪の為、大変残念でしたが、午後の「敦賀市立博物館」「清明神社」「鉄道博物館」での研修を取りやめ、四日市へと戻りました。無事に四日市まで帰って来られましたが、あと1～2時間敦賀を出るのが遅れたら、6時間ほどの渋滞に巻き込まれていたそうです。皆さんお疲れ様でした。

「敦賀市立博物館」「清明神社」「鉄道博物館」にはまた機会がありましたらお出かけください。

ムゼウムに向かう途中、外は吹雪いていました。



『人道の港 敦賀ムゼウム』でしっかり研修しました。敦賀ムゼウムの窓から見える風景はとても美しい雪景色でした。

